



BIKE-O
&COMPANY
株式会社 バイク王&カンパニー

2014年11月期
決算説明資料

2013.12.1-2014.11.30

売上高19,287百万円(2014年11月期)

【バイク小売事業】～第二の収益の柱として育成～

売上高(セグメント間取引消去前)5,009百万円
構成比22.8%

- ・直営の小売販売店「バイク王ダイレクトSHOP」を展開
主に「バイク王」において買い取った中古バイクを
「バイク王ダイレクトSHOP」もしくはWEBを通じて販売
- ・WEBショップ「バイク王パーツSHOP」でバイクパーツ
を販売

【駐車場事業】～バイクユーザーの利用環境整備～

売上高(セグメント間取引消去前)810百万円
構成比3.7%

- ・バイク駐車場、自動車駐車場、
バイクと自動車の併設駐車場等を展開

【バイク買取事業】～当社のコアビジネス～

売上高(セグメント間取引消去前)16,167百万円
構成比73.5%

- ・買取専門店「バイク王」を全国に展開
TV、WEB等の各媒体で広告宣伝活動を展開し、バイクを買取・仕入
これらを主にバイクオークションを通じて売却、一部を当社運営の小売販売店にて販売

【個別】	2014年11月期（累計）業績の概況	P.4
【セグメント別】	2014年11月期（累計）業績の概況	P.10
【個別】	2014年11月期（累計）財政状態	P.14
【個別】	2015年11月期 通期見通し/配当について	P.17
【参考資料】	今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等	P.24

（注）原則として表示金額については百万円未満切捨てで表示しております。



BIKE-O
&COMPANY

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 【個別】 | 2014年11月期（累計）業績の概況 |
| 【セグメント別】 | 2014年11月期（累計）業績の概況 |
| 【個別】 | 2014年11月期（累計）財政状態 |
| 【個別】 | 2015年11月期 通期見通し/配当について |
| 【参考資料】 | 今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等 |
-
-

●バイク買取事業

今期方針：中長期的に安定した収益が見込める体制の構築

- ・販売台数は前期を下回り、平均売上単価が前期並みとなったことから、売上高は前期を下回った
- ・経常利益は、販売費及び一般管理費の抑制により前期を上回った

●バイク小売事業

今期方針：事業運営基盤強化を推進し、店舗収益の安定化を図る

- ・販売台数は前期をやや下回り、平均粗利額は前期を下回った

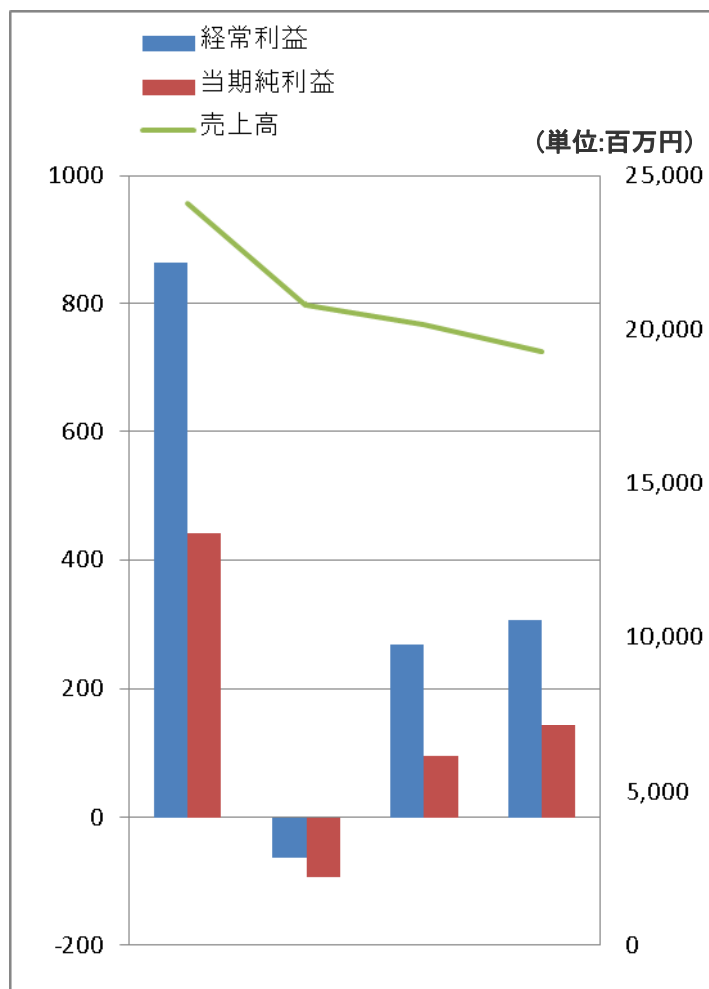
●駐車場事業

今期方針：既存事業地の収益力向上と新規事業地の開発推進

- ・堅調に推移し増収

2014年11月期(累計) 損益計算書

(単位:百万円)



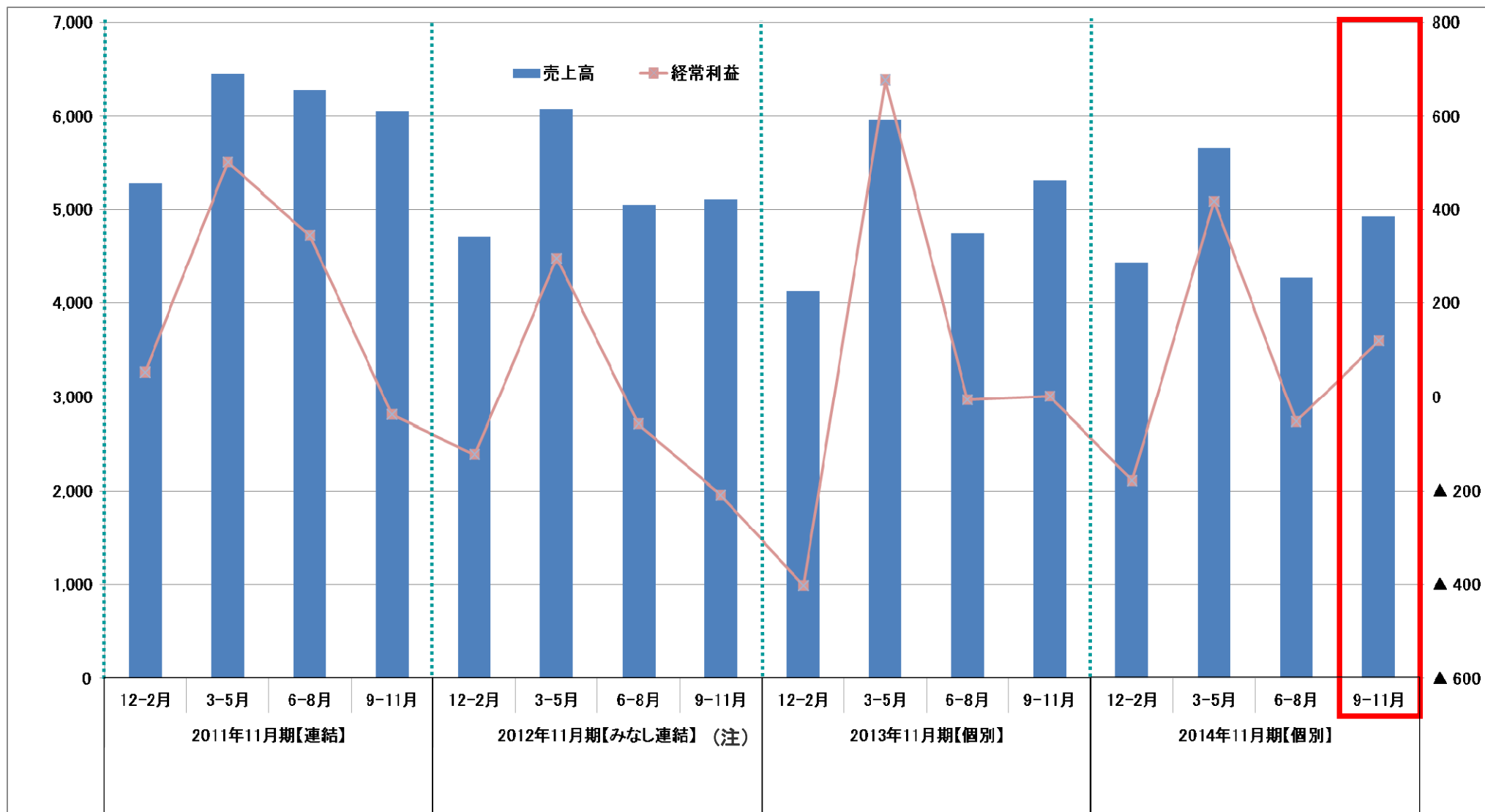
2011年11月期(累計) 2012年11月期(累計) 2013年11月期(累計) 2014年11月期(累計)

	2013年11月期(累計)	2014年11月期(累計)	増減額	増減率
売上高	20,150	19,287	▲863	▲4.3%
バイク買取事業 バイク小売事業 駐車場事業 内部消去(注)	17,142 5,401 779 ▲3,172	16,167 5,009 810 ▲2,700	▲974 ▲391 30 472	▲5.7% ▲7.2% 3.9% -
売上原価	9,259	9,468	209	2.3%
売上総利益	10,891	9,818	▲1,073	▲9.9%
販管費	10,770	9,631	▲1,138	▲10.6%
営業利益	120	186	65	54.1%
経常利益	269	307	37	14.0%
バイク買取事業 バイク小売事業 駐車場事業	▲72 292 49	264 27 15	336 ▲265 ▲33	- ▲90.6% ▲68.4%
当期純利益	94	143	48	51.8%

(注)セグメント間取引消去

四半期毎の売上高&経常利益

(単位:百万円)



(注) 当社は2012年3月1日付で連結子会社である株式会社パーク王を吸収合併し、非連結会社へ移行しておりますが、比較可能性を担保するためパーク王10実績を含む【みなし連結】をご参考として記載しております。

四半期毎の業績



(単位:百万円)

	2012年11月期 【みなし連結】 (注2)				2013年11月期 【個別】				2014年11月期 【個別】			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	4,706	6,070	5,052	5,107	4,128	5,962	4,749	5,310	4,439	5,653	4,267	4,926
バイク買取事業	4,196	5,385	4,310	4,340	3,503	5,136	3,953	4,548	3,815	4,807	3,464	4,079
バイク小売事業	843	1,294	1,387	1,352	1,080	1,462	1,481	1,377	1,018	1,328	1,281	1,381
駐車場事業	167	175	179	185	177	193	201	206	194	204	201	209
内部消去(注1)	▲501	▲785	▲824	▲770	▲632	▲830	▲887	▲821	▲589	▲686	▲680	▲744
売上原価	2,227	2,650	2,410	2,434	1,973	2,478	2,143	2,663	2,283	2,630	2,036	2,517
売上総利益	2,479	3,419	2,641	2,672	2,155	3,483	2,605	2,646	2,155	3,023	2,230	2,408
販売費及び一般管理費	2,647	3,157	2,736	2,906	2,605	2,845	2,641	2,678	2,383	2,638	2,313	2,296
営業利益	▲168	262	▲95	▲233	▲449	637	▲35	▲31	▲227	384	▲83	112
経常利益	▲114	286	▲58	▲211	▲403	677	▲6	2	▲178	418	▲53	120
四半期純利益	▲87	267	▲98	▲148	▲257	405	▲16	▲37	▲115	244	▲46	60
売上高季節占有率	22.5%	29.0%	24.1%	24.4%	20.5%	29.6%	23.6%	26.4%	23.0%	29.4%	22.1%	25.5%
経常利益季節占有率	-	-	-	-	▲149.7%	251.0%	▲2.3%	1.0%	▲58.1%	136.1%	▲17.3%	39.3%

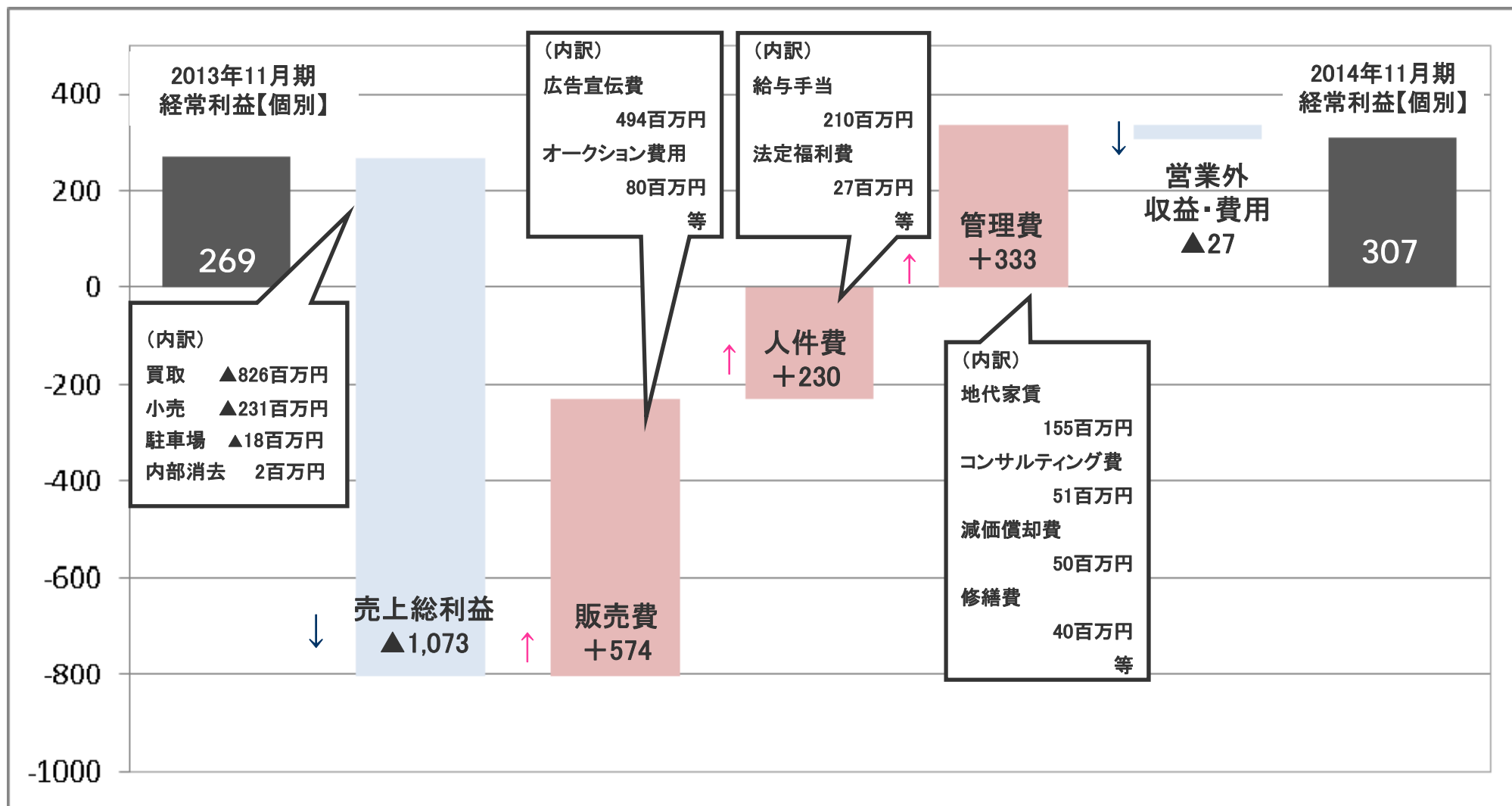
(注1)セグメント間取引消去

(注2)当社は2012年3月1日付で連結子会社である株式会社パーク王を吸収合併し、非連結会社へ移行しておりますが、比較可能性を担保するためパーク王1Q実績を含む【みなし連結】をご参考として記載しております。



2014年11月期(累計) 経常利益増減分析(前年同期比)

(単位:百万円)



(注1) 販売費及び一般管理費の+(プラス)は減少(利益の増加)を意味しております。

(注2) 広告宣伝費には広告制作費、販売促進費が含まれております。



BIKE-O
&COMPANY

- | | |
|----------|---------------------------|
| 【個別】 | 2014年11月期（累計）業績の概況 |
| 【セグメント別】 | 2014年11月期（累計）業績の概況 |
| 【個別】 | 2014年11月期（累計）財政状態 |
| 【個別】 | 2015年11月期 通期見通し/配当について |
| 【参考資料】 | 今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等 |
-
-

【バイク買取事業】 2014年11月期(累計) 業績の概況

(単位:百万円)

	2013年 11月期 (累計)	2014年 11月期 (累計)	増減額	増減率
売上高	17,142	16,167	▲974	▲5.7%
経常利益	▲72	264	336	-

販売台数 (台)	129,601	121,420	▲8,181	▲6.3%
平均売上単価 (円)	129,608	130,784	1,176	0.9%
平均粗利額 (円)	69,336	67,356	▲1,980	▲2.9%

- ・売上高は、販売台数が前期を下回り、平均売上単価がほぼ前期並みとなったことから減少
- ・経常利益は、販売費及び一般管理費の抑制により増加
- ・販売台数は、仕入台数が前期を下回ったことにより前期を下回った
- ・平均売上単価・平均粗利は、ほぼ前期並み

【バイク小売事業】 2014年11月期(累計) 業績の概況

(単位:百万円)

	2013年 11月期 (累計)	2014年 11月期 (累計)	増減額	増減率
売上高	5,401	5,009	▲391	▲7.2%
経常利益	292	27	▲265	▲90.6%

・売上高は、販売台数が前期を
やや下回ったことにより減少

・経常利益は、販売台数が前期を
やや下回るとともに、平均粗利額が
前期を下回ったことにより減少

販売台数 (台)	9,763	9,437	▲326	▲3.3%
平均売上単価 (円)	483,096	458,868	▲24,228	▲5.0%
平均粗利額 (円)	115,077	99,005	▲16,072	▲14.0%

【駐車場事業】 2014年11月期(累計) 業績の概況

(単位:百万円)

	2013年 11月期 (累計)	2014年 11月期 (累計)	増減額	増減率
売上高	779	810	30	3.9%
経常利益	49	15	▲33	▲68.4%
車室数	2,313	2,591	278	12.0%

- ・売上高は、料金体系の見直しと車室数が前期を上回ったことにより増加
- ・経常利益は、営業力強化に向けた人員の増加により販管費が増加したことで減少



BIKE-O
&COMPANY

- | | |
|----------|--------------------------|
| 【個別】 | 2014年11月期（累計）業績の概況 |
| 【セグメント別】 | 2014年11月期（累計）業績の概況 |
| 【個別】 | 2014年11月期（累計）財政状態 |
| 【個別】 | 2015年11月期 通期見通し/配当について |
| 【参考資料】 | 今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等 |
-
-

2014年11月期 貸借対照表

(単位:百万円)

	2013年 11月期 期末	2014年 11月期 期末	増減額
流動資産合計	3,946	4,021	75
現金及び預金	2,120	2,309	189
棚卸資産	1,224	942	▲281
固定資産合計	1,842	1,639	▲202
有形固定資産	837	858	21
無形固定資産	64	65	0
投資その他の資産	940	715	▲225
資産合計	5,789	5,661	▲127
流動負債合計	1,366	1,225	▲141
固定負債合計	288	297	8
負債合計	1,655	1,522	▲132
純資産合計	4,134	4,138	4
負債・純資産合計	5,789	5,661	▲127
株主資本比率	71.3%	73.1%	1.9%

増減ポイント

株主資本比率73.1%と引き続き財務の健全性維持

資産の部

《流動資産の増加 75百万円》

主に現金及び預金189百万円、前払費用126百万円の増加と商品289百万円の減少による

《固定資産の減少 ▲202百万円》

主に繰延税金資産86百万円、敷金及び保証金157百万円の減少と建物21百万円の増加による

負債・純資産の部

《流動負債の減少 141百万円》

主に未払金101百万円、短期借入金40百万円、未払法人税等32百万円、資産除去債務20百万円の減少と未払消費税等51百万円の増加による

《固定負債の増加 8百万円》

主に長期リース債務4百万円の増加による

《純資産の増加 4百万円》

主に当期純利益143百万円の計上、株主配当による利益剰余金137百万円の減少による

(注) 主要な科目を抜粋して表示しております。

(単位: 百万円)

	2013年11月期 (累計)	2014年11月期 (累計)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	666	638
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 129	▲ 215
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 196	▲ 233
IV. 現金及び現金同等物の増減額	340	189
V. 現金及び現金同等物の期首残高	1,780	2,120
VI. 現金及び現金同等物の期末残高	2,120	2,309



BIKE-O
&COMPANY

- | | |
|----------|-------------------------------|
| 【個別】 | 2014年11月期（累計）業績の概況 |
| 【セグメント別】 | 2014年11月期（累計）業績の概況 |
| 【個別】 | 2014年11月期（累計）財政状態 |
| 【個別】 | 2015年11月期 通期見通し/配当について |
| 【参考資料】 | 今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等 |
-
-

■通期業績予想

(単位:百万円)

	2014年11月期 実績		2015年11月期 予想		増減額	増減率
	金額	百分比	金額	百分比		
売上高	19,287	100.0%	18,357	100.0%	▲929	▲4.8%
売上原価	9,468	49.1%	8,526	46.4%	▲942	▲10.0%
売上総利益	9,818	50.9%	9,831	53.6%	13	0.1%
販管費	9,631	49.9%	9,534	51.9%	▲97	▲1.0%
営業利益	186	1.0%	297	1.6%	111	59.7%
経常利益	307	1.6%	383	2.1%	76	24.9%
当期純利益	143	0.7%	223	1.2%	80	56.4%

■セグメント別

(単位:百万円)

	2014年 11月期 実績	2015年 11月期 予想	増減額	増減率
バイク買取事業				
売上高	16,167	15,099	▲1,067	▲6.6%
経常利益	264	126	▲137	▲52.1%
販売台数(台)	121,420	114,400	▲7,020	▲5.8%
平均売上単価(円)	130,784	129,700	▲1,084	▲0.8%
平均粗利額(円)	67,356	69,000	1,644	2.4%

バイク小売事業

売上高	5,009	5,875	865	17.3%
経常利益	27	231	203	741.9%
販売台数(台)	9,437	10,800	1,363	14.4%
平均売上単価(円)	458,868	478,100	19,232	4.2%
平均粗利額(円)	99,005	106,200	7,195	7.3%

駐車場事業

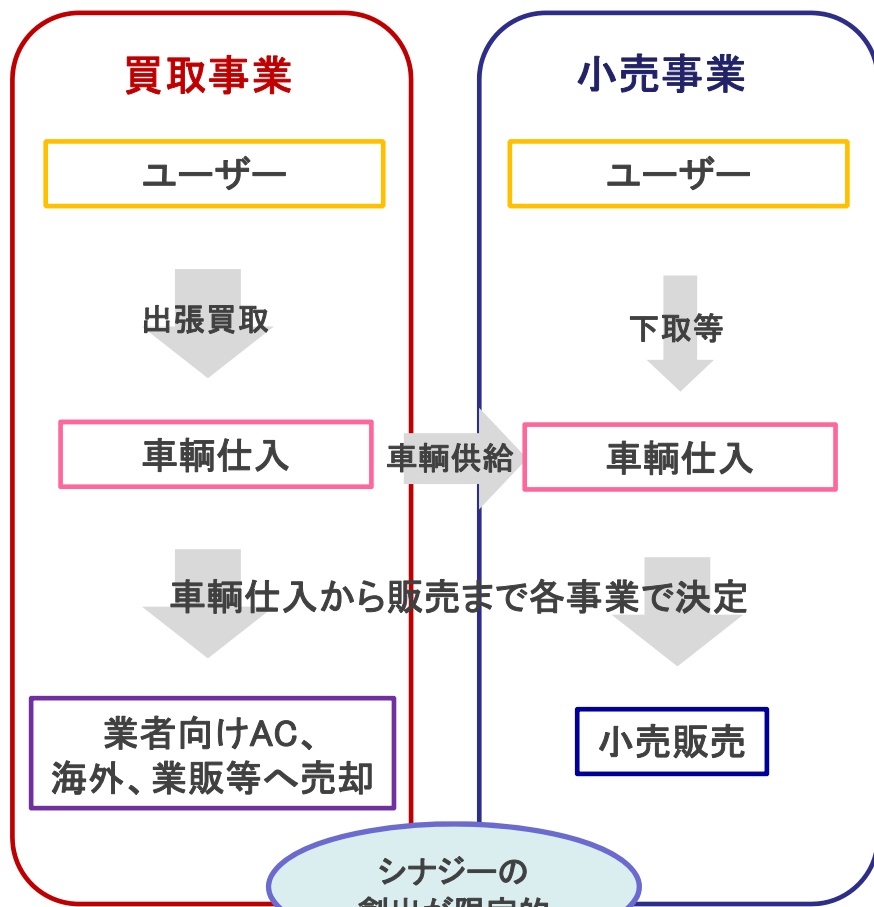
売上高	810	833	23	2.9%
経常利益	15	26	10	67.9%

- ・買取事業(仕入機能)と小売事業(小売販売機能)の融合
- ・地域・顧客属性毎に最適な戦略が構築・推進できる体制の構築
- ・利益に直結する業務管理体制の整備、強化

買取事業(仕入機能)と小売事業(小売販売機能)の融合

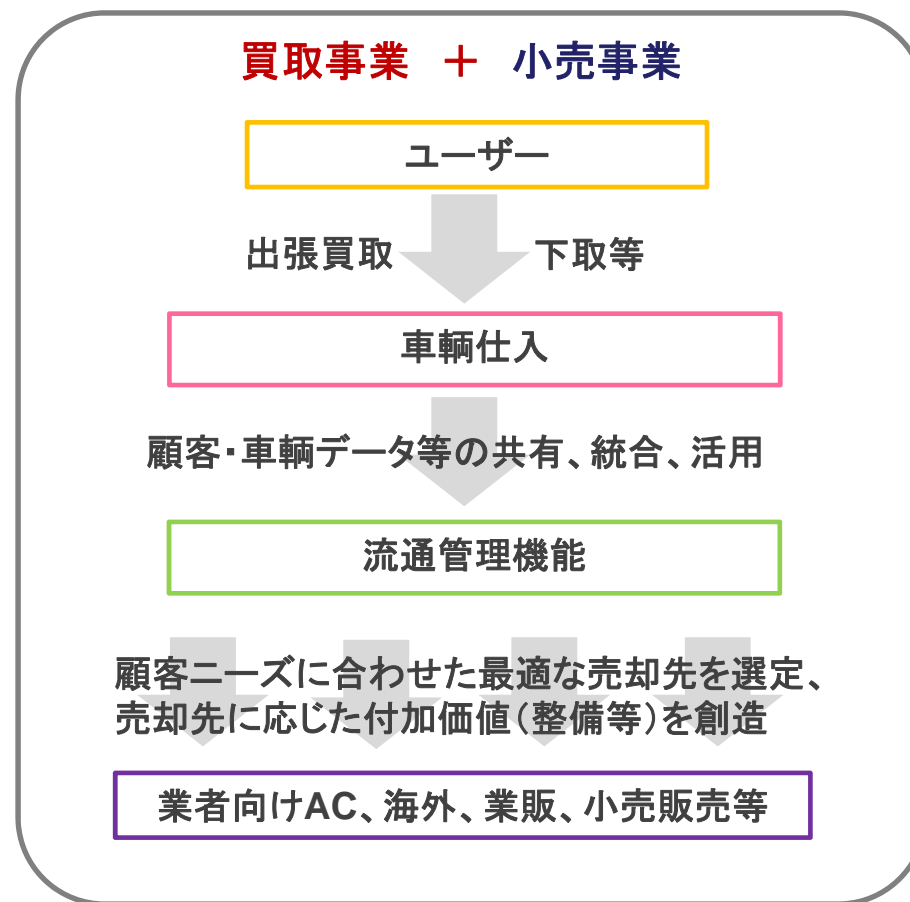
従来

買取と小売で独立した管理体制、
仕組み、リソース



今後

買取と小売が融合した管理体制、
仕組み、リソース



地域・顧客属性毎に最適な戦略が構築・推進できる体制の構築

従来

組織体制

- ・買取事業は地域をベースにした2つのグループによる組織管理体制
- ・買取事業と小売事業は別の管理体制

ビジネス展開

TVCMとWEB広告を軸にバイク買取「バイク王」のブランディングと認知度向上を目的とした全国統一の広告宣伝活動、戦略、店舗・流通網

課題

全国統一のビジネス展開の不整合
地域・顧客属性毎のマーケティングの不足

今後

組織体制

- ・マーケティングを前提とした地域別の6つのグループによる組織管理体制
- ・各グループに買取店舗と小売店舗を配置

ビジネス展開

地域特性・顧客属性を踏まえたマーケティングによる広告宣伝活動、仕入・販売戦略、店舗・流通網の構築

地域特性や顧客属性に合わせた最適な事業構成を構築



利益に直結する業務管理体制の整備、強化

従来

買取事業を中心とした営業活動の分析を重視



全社における営業指標による分析を重視



対応する戦略・施策が指標項目に傾注



今後

仕入・販売の全ての過程における利益の
最大化に資する分析



全社だけでなく地域・個店毎の
利益管理・分析を重視



利益に直結する戦略・施策の遂行

■ 基本的な考え方

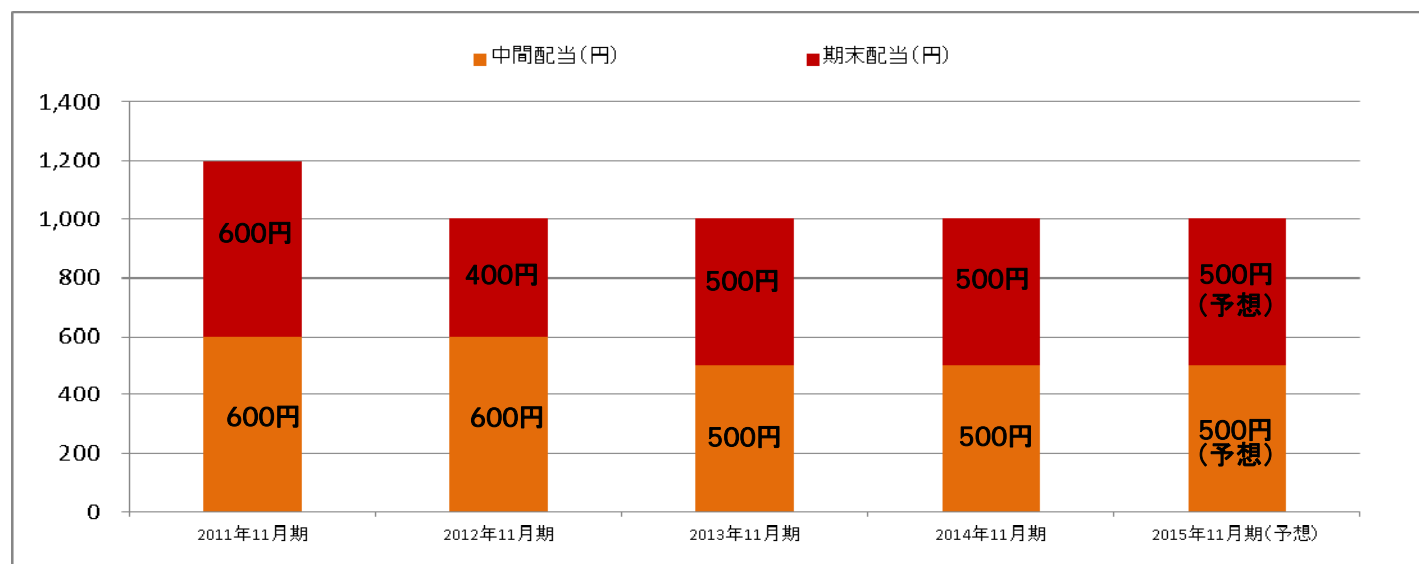
業績・事業計画等を総合的に勘案し、安定的な配当を実施

■ 1株当たり配当金額

2014年11月期年間配当(予想) 10円

2015年11月期年間配当(予想) 10円

■ 配当推移【中間・期末】（投資単位あたり）





BIKE-O
&COMPANY

- | | |
|----------|------------------------|
| 【個別】 | 2014年11月期（累計）業績の概況 |
| 【セグメント別】 | 2014年11月期（累計）業績の概況 |
| 【個別】 | 2014年11月期（累計）財政状態 |
| 【個別】 | 2015年11月期 通期見通し/配当について |
| 【参考資料】 | 今後の展開、会社概要、ビジネスモデル等 |
-
-

会社概要、沿革



会社名	株式会社バイク王 &カンパニー
本社所在地	〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X 13階
事業内容	バイクの購入から売却までをトータル プロデュースする流通サービス業
設立	1998年9月(創業1994年9月)
資本金	590百万円(2014年11月末日現在)
売上高	19,287百万円(2014年11月期)
従業員数	782名(2014年11月末日現在)
役員	
代表取締役社長	石川 秋彦
取締役会長	加藤 義博
常務取締役	大谷 真樹
取締役	山縣 俊
取締役(社外)	齊藤 友嘉
常勤監査役	産形 昭夫
監査役(社外)	諏訪 浩
監査役(社外)	山口 達郎

	沿革
1994年	9月 前身となるメジャーオート(有)を設立 以後、7法人を設立
1998年	9月 (株)アイケイコーポレーションを設立 その後、グループ会社を順次統合
2002年	12月 初のロードサイド店舗「バイク王新潟店」(新潟 県新潟市)がオープン
2004年	2月 バイク王テレビCMがオンエア開始
2005年	3月 独自の基幹システム「i-kiss」が本格稼働 6月 ジャスダック証券取引所に上場 9月 初の小売販売店「i-knew」を出店
2006年	3月 駐車場事業を営む(株)パーク王を設立 8月 東京証券取引所市場第二部に上場
2008年	6月 小売販売ブランド「バイク王ダイレクトSHOP」を 立ち上げ
2009年	8月 バイク王が100店舗展開に
2010年	12月 決算期の変更(8月⇒11月)
2011年	3月 株式会社ユー・エス・エスおよび株式会社ジャパ ンバイクオークションとバイクオークション事業 に関する業務・資本提携を開始 4月 「株式会社ジャパンバイクオークション」を株式取 得(当社出資比率:30.0%)により関連会社化
2012年	3月 (株)パーク王を吸収合併 9月 商号変更(旧社名:(株)アイケイコーポレーション)
2014年	2月 東京都港区に本店を移転

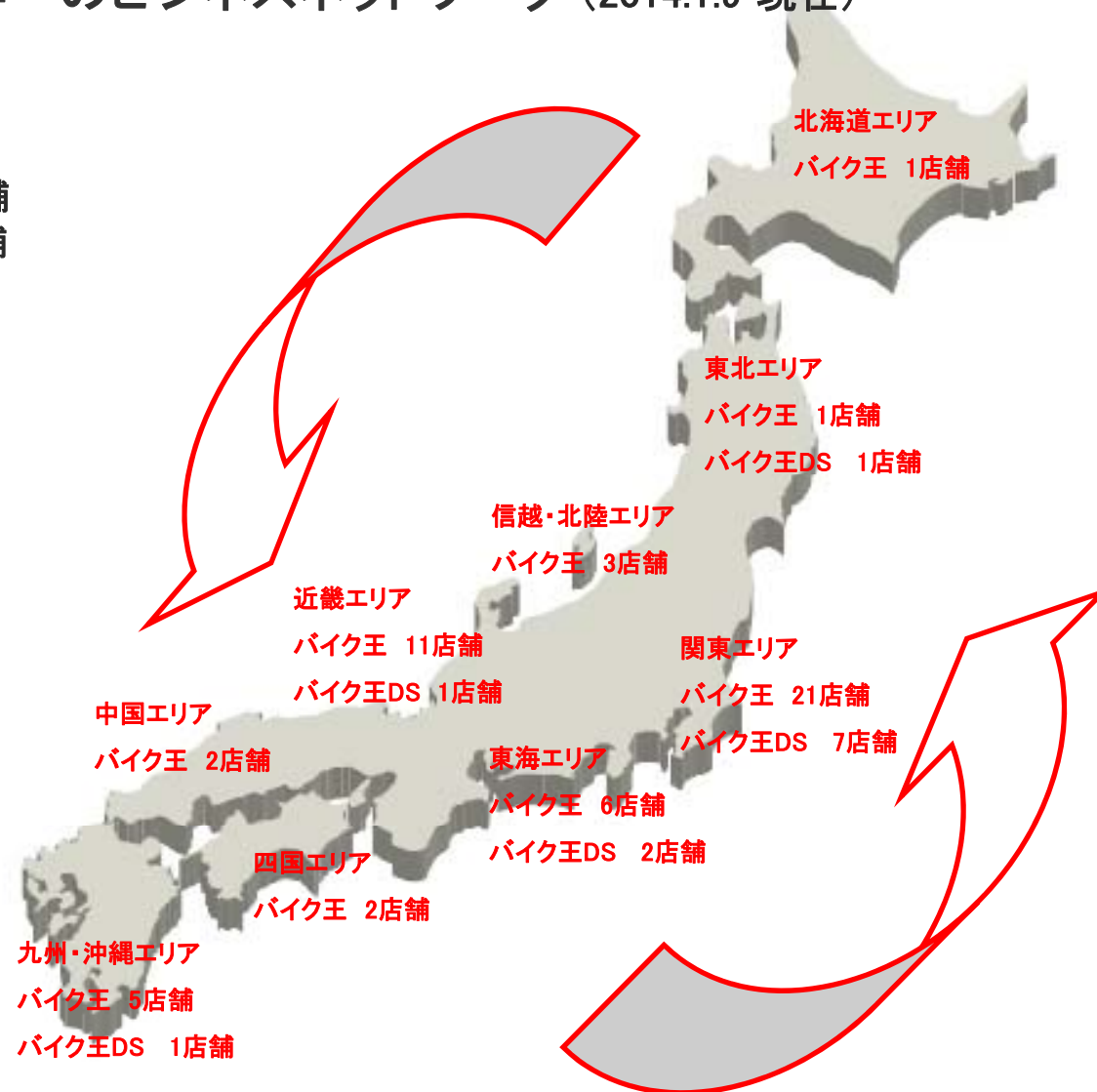
■全国に広がるバイク王 &カンパニーのビジネスネットワーク (2014.1.9 現在)

◆本社

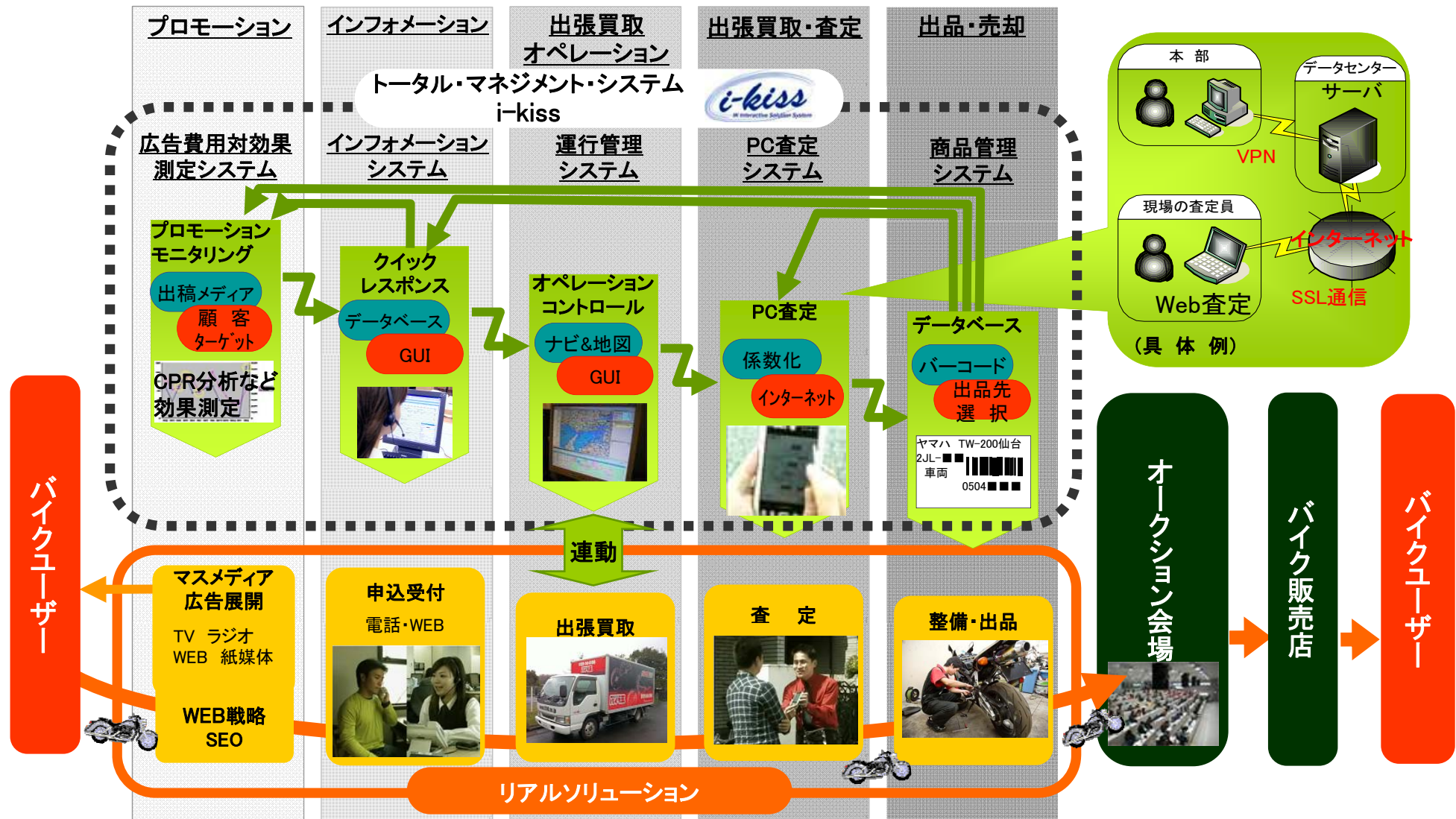
- ◆バイク買取店 バイク王 52店舗
- ◆バイク小売店 バイク王ダイレクトSHOP 12店舗

- ◆インフォメーションセンター <さいたま>
- ◆第二インフォメーションセンター <秋田>

- ◆横浜物流センター
- ◆さいたま物流センター
- ◆筑波物流センター
- ◆神戸物流センター

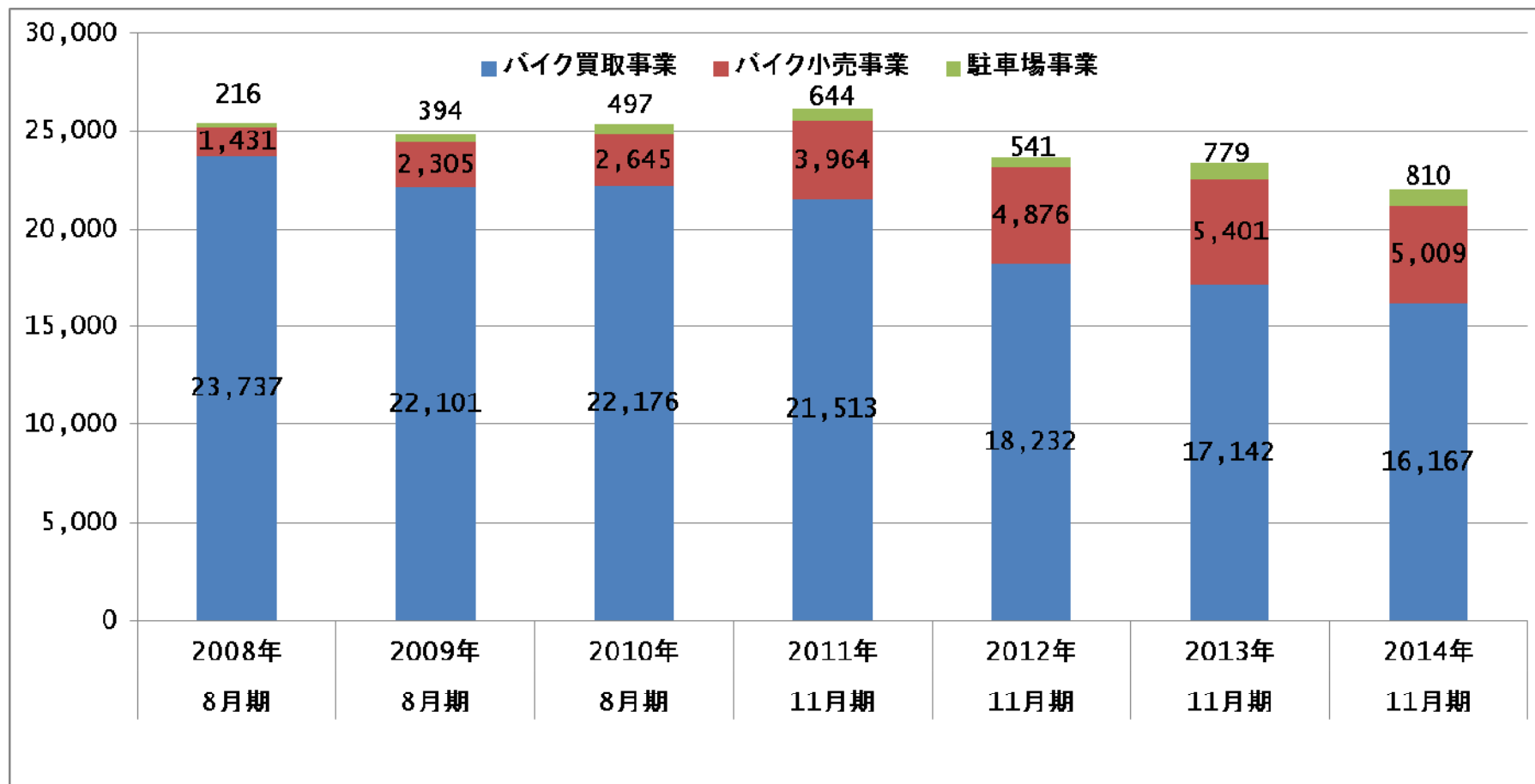


■ビジネスモデルとそれを支えるITシステム



セグメント別 売上高推移

(単位:百万円)



(注) 2010年11月期は決算期変更(8月⇒11月)にともなう3か月決算のためグラフを省略しております。

マーケット環境の概要①

■ 国内保有台数は全体として微減傾向も、比較的価値の高い原付二種以上の保有台数は微増傾向

保有台数の推移

(単位:千台)

		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
1 2 5 c c 以下	原付一種(～50cc)	7,902	7,694	7,448	7,154	6,899	6,661
	原付二種(51～125cc)	1,429	1,479	1,511	1,540	1,582	1,626
1 2 5 c c 超	軽二輪(126～250cc)	1,976	1,996	1,992	1,975	1,959	1,969
	小型二輪(251cc～)	1,478	1,505	1,524	1,535	1,542	1,566
合 計		12,787	12,675	12,477	12,205	11,985	11,823

(出所) 一般社団法人日本自動車工業会/各年3月末日ベース

■ 125cc超の中古流通台数は概ね堅調。新車販売台数は二年連続で40万台を維持

中古流通台数の推移

(単位:千台)

		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
1 2 5 c c 以下		—	—	—	—	—	—
1 2 5 c c 超		571	558	553	541	687	670
合 計		—	—	—	—	—	—

(出所) 二輪車新聞 ※2012年より小型二輪の集計方法変更

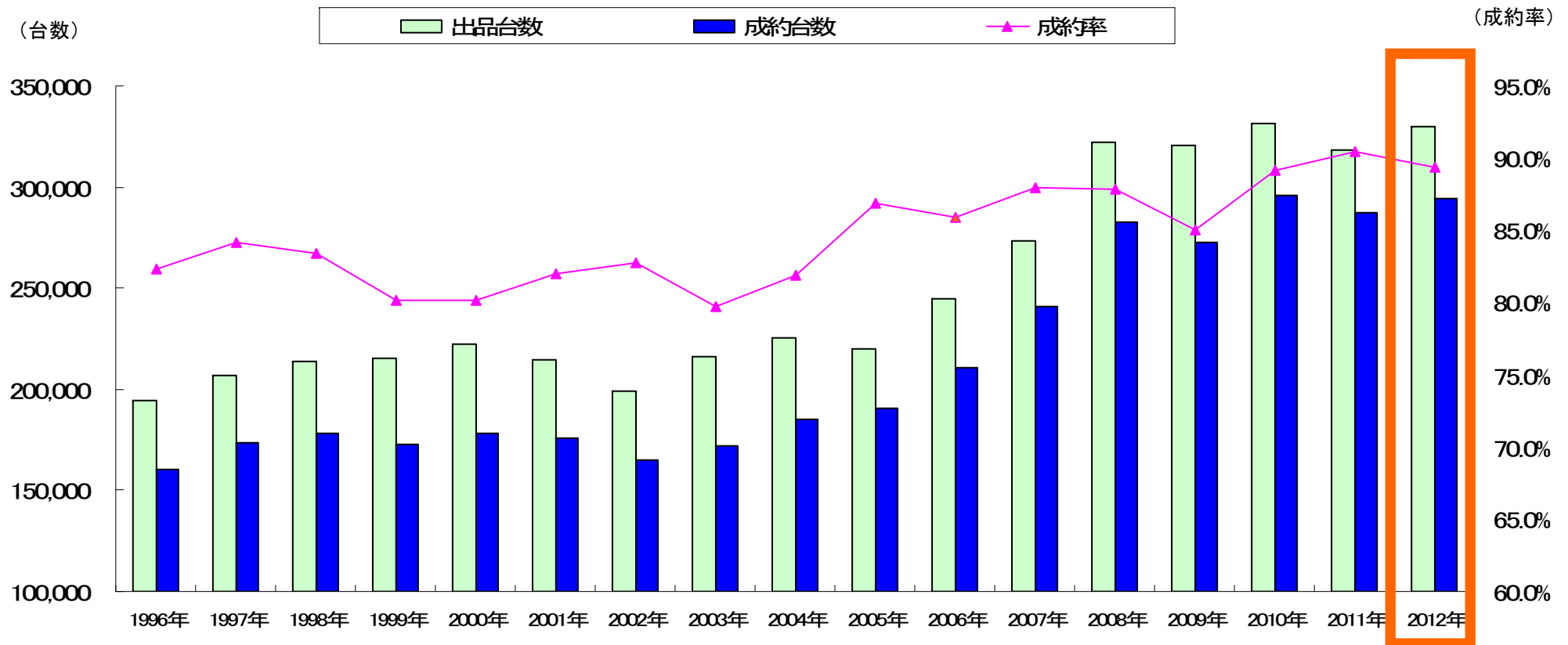
新車販売(出荷)台数の推移

(単位:千台)

		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
1 2 5 c c 以下	原付一種(～50cc)	295	255	231	257	246	238
	原付二種(51～125cc)	120	65	96	95	90	100
1 2 5 c c 超	軽二輪(126～250cc)	55	37	27	31	39	47
	小型二輪(251cc～)	49	22	25	21	25	31
合 計		522	380	380	405	401	419

(出所) 一般社団法人日本自動車工業会/暦年ベース

■ 当社の主要販売先であるバイクオークション市場の動向



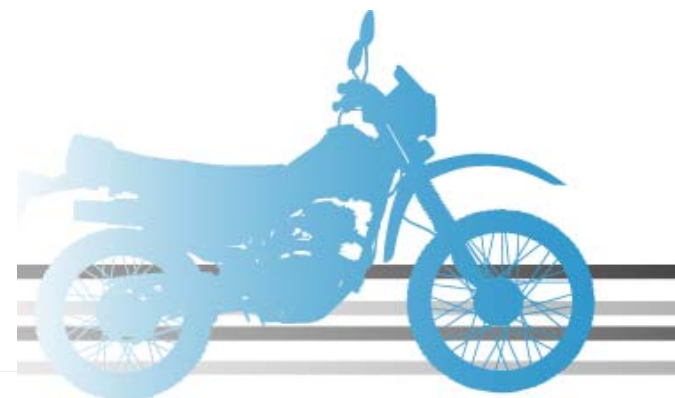
出典: 二輪車新聞 主なオークション総合統計 (注 オークネット社の実績は含まれておりません。)



本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料の作成は正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害について、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績が言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知ください。



【連絡先】コーポレートグループ 広報IR担当

TEL: 03-6803-8855

<http://www.8190.co.jp/company/>